

婦人薬

この説明書は本剤とともに保管し、服用の際には必ずお読みください

第2類医薬品

亀や婦人薬

「亀や婦人薬」は古くから漢方薬の原料としても用いられております和漢の生薬を配合した薬で俗に「血の道の薬」といわれております。

「血の道について」 いっぽんには更年期障害を「血の道」といいますが、血に関係のある病気の症状「月経前後、月経中、産前、産後、流産、人工妊娠中絶後、更年期障害などにみられる精神、神経、ホルモンの乱れ」をいいます。

また、更年期障害には次のような症状が多くみられます。

- のぼせ、頭痛、めまい、耳鳴り、肩のこり、冷え症
- 精神的症状として興奮、憂うつ、不眠、不安、神経衰弱、ヒステリー
- ホルモンの乱れとして、月経不順、子宮に不正出血が起こったりすることがあります
- 卵巣機能の低下により、顔のシミ、ソバカスが増えたり色が黒くなったりします

⚠ 使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状がが悪化したり、副作用がおこりやすくなる)

授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳をさけること



相談すること

- 1 次の人は服用前に医師、薬剤師または登録販売者に相談してください
(1) 医師の治療を受けている人。
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
(3) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- 2 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談してください

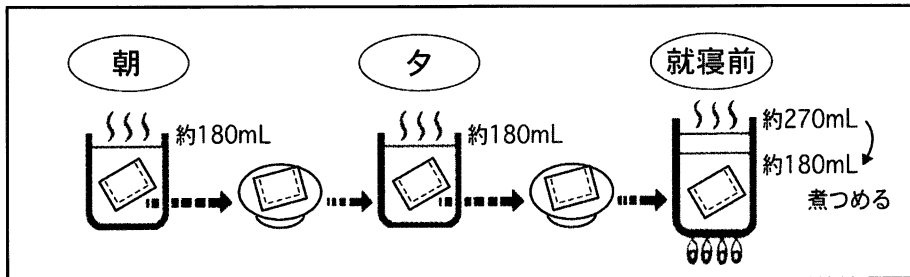
関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	吐き気、食欲不振

効能・効果

血の道、頭痛、月経不順、月経前後の下腹疼痛、産前産後、肩のこり、下腹腰足の痛み、冷え込み、のぼせ、耳鳴り、めまい、むくみ、神経衰弱、ヒステリー、ひきかぜ、子宮病、子宮出血

用法・用量

大人(15歳以上) 1日1袋を使用し、朝夕就寝前の3回服用する。
はじめの2回は、1袋に約180mL(1合)の熱湯を加えてよく振り出し、朝夕食前に服用する。
3回目は、朝夕に使用した残りの袋に、水約270mL(1合5勺)を加え約180mLに煮詰め、就寝前に服用する。 15歳以下7歳までは大人の半量宛服用する。
小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。



◎ 服用上の注意

- 1 振り出し、又は煎じた後、容器の底に粉末があってもそのまま服用して差し支えありません。
- 2 振り出し後、薬の液の色が少し薄い場合でも、成分、効能には変化がありません。

成分・分量・はたらき

本品 1日量 (1袋 10g) 中 次の生薬を含みます。

	成分		分量	はたらき
1	センキュウ	川 芎	1.0g	血行を促して、血液を活気づける作用を持つ
2	トウキ	当 帰	1.0g	血の循環を活性化し、各臓器の作用を高める
3	シャクヤク	芍 薬	1.0g	筋肉のけいれんや緊張をほぐす作用がある
4	ブクリョウ	茯 苓	1.0g	利尿作用が強く、病後の体力増強作用がある
5	ソウジュツ	蒼 朮	1.0g	水分の代謝を盛んにして、整腸、利尿、発汗作用がある
6	ケイヒ	桂 皮	1.0g	停滞しているものを動かし、発散させる作用を持つ
7	ポタンビ	牡丹皮	1.0g	血中の熱をさまして活かす作用を持つ
8	モッコウ	木 香	1.0g	芳香性健胃作用がある
9	センコツ	川 骨	0.95g	解熱、鎮痛作用がある
10	カンゾウ	甘 草	0.5g	緊張を緩和させる作用がある
11	ダイオウ	大 黄	0.5g	停滞した血液の流れを改善する作用がある
12	ベニバナ	紅 花	0.05g	血行促進作用がある


保管及び取扱い上の注意

- 1 直射日光をさけ、なるべく湿気のない涼しいところに保管すること。
- 2 小児の手の届かない所に保管すること。
- 3 誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れ替えないこと。
- 4 使用期限を過ぎた製品は服用しないこと。

お問い合わせ先

本品についてのお問い合わせはお買い求めのお店または下記までご連絡いただきますようお願い致します。

製造販売元


株式 福岡薬工社
 会社
 〒814-0002
 福岡市早良区西新1丁目4-28

お客様相談窓口
 電話 092-843-4567
 受付時間 9:00~17:00
 (土、日、祝日を除く)